

議会報告会での質疑・意見及びその回答

別紙3

平成25年5月14日(火) 八幡西会場(八幡西生涯学習総合センター)

質疑・意見の要旨	議員回答要旨
<p>① 経済や教育など複数の内容が1つの分科会で話し合われているが、内容を一つに絞って分科会を開催したほうが良いのではないか。</p>	<p>北九州市のような大きな市には、非常にたくさんの組織があります。3つの分科会では、それぞれ6つから7つの分野について審議しています。議員が200人もいれば、1つの分野だけのことを審議できるかもしれませんが、現在は議員の数も61人と限られていますので、予算特別委員会では、全体を3つに分け、それぞれ幾つかの分野を審議しています。また、予算特別委員会は約1週間行われており、日ごとに特定の分野を集中的に審議しています。</p>
<p>② めかり山荘の建替えについて、詳細な報告を知りたい。土地はどの程度で販売されたのか。建物を壊す場合どれだけかかるのか。新しく建設する場合は、民間会社が全ての資金を準備するのか。市の税金で建てたものを、民間会社に無償で販売するのか。経過措置として、市がいくらか融資する代わりに、収入をいくらかもらうようにしてはどうか。</p>	<p>国立公園の中なので、環境省の事業許可が必要となります。土地をいくらで貸すのかなど、詳細は調整中でまだ決まっておりません。 これまで税金で建てた物というのはほとんどが赤字で、北九州市に収益はほとんどありませんでした。しかし、新たな事業者が参入することで民間活力を最大限に活用して、北九州市がもうけるのではなく、市民や観光客が楽しめるような施設を、北九州市のお金を使わずに建てることに、この事業の意義があるのではないかと考えています。</p>
<p>③ めかり山荘について、最初に赤字で建てたとしても、3年くらいで黒字にして市の収益に入れるべきではないか。</p>	<p>国民宿舎事業をなぜ国が民間に移譲しているのかというと、事業そのものが採算がとれないからです。行政がホテル事業を行っても上手くいった事例があまりありません。そのようななか、燦キャピタルという会社だけが手を挙げ、なんとか黒字にもっていけるようにがんばりたいと言っているので、燦キャピタルに出来れば任せたいというのが私たちの考えです。</p>
<p>④ めかり山荘について、黒字にする方法を考えるのが議員の仕事ではないか。黒字にできないのであれば、最初から事業を行うべきではないのではないか。</p>	<p>市民の皆さんが快適に過ごしていただけるようにすることが、私たちの仕事と考えています。商売をすること自体は議員の仕事ではないと思いますが、商売を上手く出来る企業をこの街に誘致することは議員の大事な仕事と考えております。行政がやるべきことと民間がやるべきことの役割分担をきちんと行うことで、市民によりよいサービスを提供することが必要であると考えています。</p>

平成25年5月14日(火) 八幡西会場(八幡西生涯学習総合センター)

質疑・意見の要旨	議員回答要旨
<p>⑤ めかり山荘の建替えの計画について、市がいくら出資しようとしているのか、投資であれば何年くらいで回収する予定なのか。</p>	<p>民間事業者の事業計画については、協議中で詳細は決まっておりません。市の土地ではなく国立公園内ですので、市としては事業を行いません。ただし、市民から施設がなくなるのは寂しいという意見がたくさんありましたので、民間事業者を公募しました。民間事業者でやる方がいなければ、おそらくこの事業は成立しません。</p>
<p>⑥ 新折尾駅は北口のみで南口を設置しないと聞いたが、再考の余地はないのか。</p>	<p>今の計画では改札口は北口のみですが、他のところから出入り口がなくなるというのは大きな誤解です。現在、地上にある駅が2階部分に行きます。四方八方から市民が利用できるバリアフリーの駅になりますので、今のところ改札口は北口のみで充分との考えで計画が進められています。</p>
<p>⑦ 新球技場について、報告のなかで2万人収容の球技場の規模を1万5千にし、建設費が107億円が89億円に、そのうちtotoの無償援助を除き59億円で作れるということだった。それ以外に、ギラヴァンツ支援事業ということで6,000万円かかり、また無料バスのチャーターやいろいろなチケットの補助をしている。今年度も関連予算で調査事業と別に予算化しているようだが、こういう状態で新しい球技場を作ってよいのだろうか。</p>	<p>現在のホームグラウンドの本城陸上競技場は交通の便がよくありません。案ではありますが、新球技場は、非常に交通の便のいい、小倉駅の北口にということで事業計画が固まったところです。市長からは、PFI事業を想定しており、6月中をめどに判断すると聞いています。 北九州市初めてのプロスポーツチームであり、子どもたちの夢や希望、市民の一体感を醸成する中で、現実には非常に厳しいかもしれませんが、5年先・10年先を考えたときに、ギラヴァンツのホームグラウンドを交通条件のいいところに誘致できれば、しかもPFI事業の特徴を活かして事業が進むのであれば、様々な意見があるなかで判断するひとつになると考えています。 市長が予算をあげてきたときに、二元代表制の一角である議会としてどう判断するかが問われることになると思います。</p>
<p>⑧ 学術研究都市の大学の整備費について、学生の授業料でまかなえるように、工夫されているのか。</p>	<p>学術研究都市の整備費用は、学生の授業料ではまかなえません。学術研究都市は北九州市が金もうけをしようと思って作ったのではなく、「知の財産」を作ろうとして作った施設です。知の拠点都市として、頭脳によって日本の国を支えられるようなまちづくりを北九州市は目指しており、そのための先行投資であると考えています。授業料については、教員や職員の人件費等に充当しています。</p>

平成25年5月14日(火) 八幡西会場(八幡西生涯学習総合センター)

質疑・意見の要旨	議員回答要旨
<p>⑨ 学術研究都市の学生が発明をした際に、特許の権利の何%かを市に返還してもらうことはできないか。 また、法律が壁になっているのであれば、市議会議員が国会へ行き、国会議員と話して、自分の意見を通すべきではないか。</p>	<p>特許の権利について、今の法律上での対応は難しいと思います。アメリカでは学生と大学の間で特許権を半々に分けあう制度もありますが、日本では確立されておられません。 市議会議員は、たびたび東京へ行き、国会議員や官僚に会い、要望等を伝えています。また、地方自治法99条の定めにより、市議会は意見書というものを国会等に出すことができます。意見書決議が固まれば、市議会の総意として、国に対して法律改正を求められますので、今後も市がいろいろな事業を行いやすいように法律改正を国に対して求めていきたいと思ひます。</p>
<p>⑩ 25年度の予算では、公債費が675億円。これは借りたお金の返済に充てるのだと思うが、今後金利が上がる可能性が高いなかで、これがどのように変わるのか。また市としてどう検討されているのか。</p>	<p>今年度の公債費、借金を返すお金が675億円で、前年度に比べて4億円減っています。これは今年度の金利と財政状況になりますが、金利はその時々で動きがあります。平成26年度になれば、その時の金利や経済状況によって財政局が予算を組みますので、それを議決するかどうかは議会がしっかりと審議していきたいと思ひます。</p>
<p>⑪ サッカー球技場は無理だと考える。ギラヴァンツ北九州の入場者数では経営できない。100億円を投資したとして、その100億円は何年で返済するのか。ギラヴァンツ北九州に返済する力があるのか、難しいと思ひます。</p>	<p>現時点の成績が悪い、また大きな経費がかかるということで今やらないと決めていいのか、ということも含めて、6月の議会での議論を見ていくべきではないかと思ひます。 市長はPFI事業を想定しているということなので、民間企業がノウハウを活用して、様々なスポーツや文化事業等で球技場をどういう風に活用するのか、民間がどういうことを提案してくるかの見極めも必要であると思ひます。</p>

議会報告会での質疑・意見及びその回答

平成25年5月18日(土) 門司会場(門司生涯学習センター)

質疑・意見の要旨	議員回答要旨
<p>① 門司港のレトロ地区はあまりリピーターがいない。また、観光客が門司港レトロを観光しても下関等に宿泊している。魅力がないのではないか。</p>	<p>魅力がある観光地には本物の施設があり、見る施設が多くあります。現在、門司港駅の改修を行っていますが、大連上屋や三宜楼を改築して観光施設を増やそうと考えています。また、民間投資によってめかり山荘を建替え、魅力ある宿泊施設を増やすことも考えています。リピーターの多い観光地ではホスピタリティ、おもてなしの気持ちがしっかりしているので、市民のみなさんにも、ホスピタリティをさらに持ってほしいと思います。</p>
<p>② 門司港のレトロ地区は真ん中に産業道路がはしり、大型トラックが行きかっている。観光客も大型トラックが怖いと言っている。なんとかならないだろうか。</p>	<p>門司と下関は九州と本州を結ぶ大動脈であり、本州へ行こうとすれば必ず門司港地区を通らなければなりません。北九州市は物流拠点都市を目指しており、物流を切り捨てることはできないと考えています。ただし、観光客が怖い思いをしなくてすむような交通マナーをトラックの運転手の方にも遵守していただき、物流と観光が共存共栄できる門司区の街づくりを進めていきたいと思っています。</p> <p>また、国道に関しては、大型車が走ることはやむを得ませんが、レトロ地区の中に大型車が入らないようにということは我々も考えています。問題なのは、レトロ地区に大型車をまったく入れないようにすると、観光バスも入れなくなってしまうので、観光バスは入れるが、トラックなどは入れないという新しい規制を検討しています。</p>
<p>③ 2、3年前の大雨の際、花月園と稲積で土砂崩れが起こり、修復工事が行われたが、稲積はすぐに行われ、花月園は遅かった。また、修復工事も必要以上に費用がかかっていた。説明できる職員はここにきていないだろうか。</p>	<p>本日は議会の報告会ですので、回答できる市の職員は参加していません。稲積では早くに行われたけれども、花月園では遅れたというのは、国の所管と市の所管と分かれていたということが理由です。</p>
<p>④ 栄町のラーメン屋の屋根が壊れており、持ち主が福岡市にいるとわかっているのに、市は何もせず、屋根が落ちてから、税金を使って養生をした。他にも、自分の家の近所に空き家があり、土地が国の管理だったので、国の出先機関に依頼して、家を壊してもらったものがある。市民が言わなくても、よい状態にすべきではないか。</p>	<p>空家、廃屋については北九州市も議論を深めています。持ち主がわからない廃屋、空き家について、危険箇所は北九州市が解体できるように考えています。各区のまちづくり整備課が所管することですが、住民に危険が及ばないようにしっかりと取り組んでいこうと思いますので、もう少し状況を見守っていただきたいと思っています。</p>

平成25年5月18日(土) 門司会場(門司生涯学習センター)

質疑・意見の要旨	議員回答要旨
<p>⑤ 北九州市の人口減をどうやって食い止めるかを議会ではどのように話し合っているか、伺いたい。</p>	<p>人口減への対処法として即効性のあるものはありませんが、先ほどの報告の中でもあった、新成長戦略の推進があります。地域経済対策の推進、安心安全なまちづくり、そして、子育て、教育、福祉、医療の拡充です。これらを備え、市民所得を増やししながら、平成27年度までに、若者、女性、高齢者、障害者の雇用を新たに8千人増やしたいと考えています。働く人を増やし、住んでくれる人を増やす。以上のことをかね合わせながら、基本構想を描きつつ、人口増に取り組んでいきたいと考えています。</p> <p>経済の分野から人口増についてお答えします。北九州市の人口が107万人だった頃、新日鉄で4万人が雇用されていましたが、現在は2千数百人です。マザー工場を市内に増やすことで、昔は重工業の北九州市でしたが、これからは頭脳の北九州市として、ものづくりのまちとして、若者が働ける場所を作りたいと考えています。そのためには企業の誘致を徹底して行い、皆さんが安心して働けるまちづくりを行っていきたくと考えています。これには10年ほどかかるとは思いますが、ご期待をいただきたいと思ひます。</p>
<p>⑥ 防犯灯の取り付けはどこにお願いに行けばよいのか。</p>	<p>防犯灯については、市が取り付けるものと、自治会が取り付けるものとあります。地元の町内会長へ相談に行くのが良いと思ひます。町内会の役員で話し合われ、防犯灯を設置すべきであると判断した場合、区役所のコミュニティ支援課へ申請します。そして、市が補助事業として、防犯灯を設置するという流れになっています。例外として、町内と町内の境目、河川沿い、高速道路沿い、どこの町内に属さないところについては、直接、区役所のコミュニティ支援課に申し出をします。その際もできれば、町内会長を通じてのほうが良いし、市議会議員をとおしても良いと思ひます。</p>
<p>⑦ ごみステーションについて、生ごみを捨てるステーションを、かんびんやプラスチックも捨てることができるステーションへ変更してほしいが、どこへお願いに行けばよいのか。</p>	<p>ごみステーションについては、各環境センターで苦勞しながらコースを決めています。もし、収集のルールを変更する場合は、門司区であれば、新門司環境センターもしくは環境局業務課が窓口になります。個人で個別にお願いするよりも、町内の人を通して、地域の幅広い声として、複数の声として上げることが一番良いと思ひます。調整に時間がかかるかもしれませんが、地域の方の大多数がそのほうがよいという提案で、地元、町内の方を通して進めていくほうが良いと思ひます。</p>
<p>⑧ 現在、高校や大学を卒業して、就職に困る人が多い。であるのに、市の職員が定年になった後、天下りをしている。天下りをなくさなければ、若い人は働けないのではないのか。</p>	<p>今、この報告会において、天下りについて答えることはできません。新成長戦略を説明させていただきましたが、我々は若い人がしっかりと働く場所を見つけ、また、しっかりと生きがいをもって働き口を見つけることができるように取り組んでいるので、ご理解をいただきたいと思ひます。</p>

議会報告会での質疑・意見及びその回答

平成25年5月19日(日) 小倉北会場(市立商工貿易会館)

質疑・意見の要旨	議員回答要旨
<p>① 自立支援事業について、本年度の予算審議の中で、正規雇用に限らず、パート、アルバイトの形態にかかわらず、何らかの仕事を就いてもらうという回答を見かけた。乱暴な言い方をすれば、とにかく職に就けという、押し付けのような論理で納得できない。この関連の質疑があったのかということをお聞きしたい。</p>	<p>自立支援で就職に結びつくような質問はありませんでした。64歳までの稼働年齢層について、働ける状況であれば、働いていただくということであり、それが行き過ぎた形であれば問題であると考えます。国も市も、病気をされていない方、働ける状況の方はできるだけ自立支援していくということで動いています。行き過ぎたことがあれば、きちんと改善するように進めていきたいと思っております。</p>
<p>② 報告の中で、フェイスブックを活用した市民からの通報システムというものがあるが、どのような経緯からフェイスブックを活用するという話が出たのか？なぜフェイスブックでなければならないのか？他にミクシイ等さまざまなシステムがある中で、それを選んだ理由について議会で話が合ったなら聞かせてほしい。</p>	<p>市としては今から検討したいという状況です。佐賀県の武雄市にはフェイスブック・シティ課が実際にあり、フェイスブックを使って市民と直接やりとりをしています。議員が武雄市を視察して、北九州市でも活用できれば良いのではないかと考え、質問が行われました。</p>
<p>③ 中央卸売市場市制50周年記念イベントについて、中央卸売市場は場所がよくないと思う。自家用車の方は良いかもしれないが、バスも走っていない。シャトルバスを手配した方がよいのではないか。</p>	<p>中央卸売市場は確かにあまり利便性の良い場所にあるとは言えません。今後は中央卸売市場ではなく、地方卸売市場に格下げになる予定です。中央卸売市場と違い地方卸売市場になると規制があまりないので、下関の唐戸市場のように一般の方も観光の方も来ていただけるような、利便性の良いところにつくれないかと考えています。 しかし、今年行う市制50周年記念イベントは、現状の中央卸売市場で行うかありません。当日はシャトルバスを運行し、多くの人に来てもらえるよう市に働きかけていきたいと思っております。たくさんのPRをしたいと思っておりますし、韓国の旅行会社にもツアーを組んでもらうような依頼をしたいと考えています。</p>
<p>④ めかり山荘跡地問題について、民間企業にまかせるとしたら、利益に走ってしまうのではないか。公共性は保たれるのだろうか。</p>	<p>全国的に、市や県等の公共団体が運営している施設はほとんど失敗しています。宿泊施設や商業施設の運営について、行政はノウハウがなく得意ではありません。優先交渉権者の燦キャピタルマネージメントの社長は北九州市出身です。小倉十三区という屋台街も同社が作りました。北九州市に何らかの恩返しをしたいと、めかり山荘の建替えに手をあげてくれました。営利だけで商売をするつもりではないと、好意的に解釈しています。会社なので、儲けも上げてもらわなければならないかもしれませんが、北九州市の観光振興のためにがんばっていくという使命を持っていただきたいと考えています。</p>

平成25年5月19日(日) 小倉北会場(市立商工貿易会館)

質疑・意見の要旨	議員回答要旨
<p>⑤ 商店街活性化問題について、市の介入だけで済む問題でしょうか。</p>	<p>自分も最近、商店街を見てシャッター通りが増えてさびしいと感じています。まずは市民の所得を増やして、購買力を増やす必要があります。市も中小企業対策に取り組んでいますので、困ったことがあれば相談していただきたいと思います。</p> <p>現在、日本全国どこの商店街も斜陽の傾向にあります。しかし、その中で生き残っている商店街もあり、我々はそういう商店街を視察し、良いところを取り入れられないかと勉強をしています。デパートやスーパーと商店街の違いを出していかなければいけないとアドバイスしています。</p> <p>例としては、八幡東区には限界集落があり、買い物に行けないお年寄りがたくさんいます。その人たちに対して、商店街に来てもらうのではなく、商店街の人がライトバンに商品を積み、売りに行くようなシステムを構築していかなければなりません。デパートやスーパーではできない、きめ細かいサービスをすることで、コストは多少スーパーよりも高くなりますが、商店街の生き残りの手法の一つだと考えています。北九州市は政令指定都市の中で、高齢化が最も進んでいますが、高齢者を相手にする商売ということで、商店街にはがんばっていただきたいと思います。</p>
<p>⑥ 市長がフェイスブックを活用するといった文言が資料に載っているが、私などはメディアと言っても、新聞や雑誌くらいしか見ることがない。私のような年寄りにはフェイスブックやツイッターは見ることができないし、活用できない。フェイスブックの活用等ではなく、もう少し既存のメディアを活用するということではできないか。</p>	<p>フェイスブックは、画像付きで、目に見える形で、現場を監督する部署に伝えることができるメリットがあります。我々議員も、台風の後、市内を回りますが、現場の写真をとって、フェイスブックを使い画像を送ることができれば、すぐに現地の状況も把握できますので、市に対し活用を提案したところですが、これはまだ検討段階で、実施はしておりません。ちなみに、北九州市の生活環境パトロールセンターに道路の側溝の損傷や街路灯の不点灯など、気がついたことがあれば、市民からフリーダイヤル(0120-790-810)で通報してもらう制度があります。</p> <p>市民全員がソーシャルメディアを駆使できるわけではないという認識はあります。市政だよりやテレビを活用することは、まだまだ必要です。しかし、ソーシャルメディアは通常の情報伝達よりも安くできます。経済効率の中で、既存のメディアを補完する形で活用することが良い形であると考えます。特に防災の場合は、津波が来る等の情報伝達をフェイスブックだけでできるわけではありません。防災のスピーカーを危険地域に設置し、直接伝達するような取り組みも行っています。ソーシャルメディアが活用できない状況でもしっかり補足する形で、総合的に情報伝達を考えるべきだと思います。</p>

平成25年5月19日(日) 小倉北会場(市立商工貿易会館)

質疑・意見の要旨	議員回答要旨
<p>⑦ エコカーの台数について、他の政令指定都市との保有台数の比較が資料に載っているが、北九州市が突出している。この数字は経済的に見た場合、良いのか。先進都市として誇張されているのか。さらに増えるのか。メリット、デメリットがあると思うが、その理由を知りたい。</p>	<p>北九州市は環境モデル都市として、平成25年度までに民間も含めて300台の電気自動車の普及を目標にしてきました。現在は400台の電気自動車走っています。今後、公用車としての購入は見送ることとしたいと答弁がありました。出始めの頃、水素自動車は約1億4千万円の年間費用がかかっていました。平成27年度までにトヨタ自動車が500万円台で販売するという発表があったと聞いています。水素自動車は環境にとって素晴らしいものと考えます。水素ステーションの問題はありますが、今後、国も水素スタンドを増やすと言っています。</p> <p>そのような状況で、これまでは実証実験としてエコカーの台数を確保してきたということをご理解ください。</p> <p>経済性を考えると決してプラスとは言えません。ガソリン代はかかりませんが、車両本体価格は一般の乗用車より随分高いです。その意味で、経済性はあまり良いものではありません。しかし、我々は、北九州市は経済性だけを追い求めてよいのかという考えを持っています。地球全体が温暖化し、地球環境が破壊されている状況の中で、経済性は悪いかもしれませんが、地球の環境を守るという意味で、環境に良い自動車が増えていく必要があると考えています。</p> <p>環境首都総合交通戦略というものがあり、北九州市の交通政策をどうしていくのかを考えています。エコカーの開発はまだこれからで、水素バスもまだ日常の交通網の中に走っているわけではありません。その中で、低炭素型の、環境に優しい交通機関を考えると、バスなどの公共交通機関を多くの方が活用できるように取り組みを進めていくことが必要だと考えます。</p>
<p>⑧ 議員定数についての答弁、その他参考のものがあれば教えてほしい。</p>	<p>選挙の前に、市議会では主要会派の代表者を中心に、議員定数の問題を含め、議会改革について様々な議論が交わされました。議員報酬の削減、政務活動費の削減、費用弁償の全廃、海外視察の費用削減については合意を、実施しましたが、議員定数削減の問題については、残念ながら合意できませんでした。最後のまとめとして、選挙後に更なる課題を議論し、2年程度で結論を出すことを申し合わせておりました。</p> <p>そこで、選挙後の3月に各主要会派から2人ずつの議員で構成する新たな議会改革協議会を発足させ、現在、議論を開始しており、メディアにも公表しているところです。様々な意見が出され議論が行われる中で、早いうちに結論を出していきたいと考えていますので、注目していただきたいと思っております。</p>